

オレンジゆずるバスの利用促進について

1. 無料乗車イベントの実施結果	
(1) イベント実施結果の概要	… P 3
(2) イベント利用実態	… P 5
(3) イベント利用者の特徴	… P 8
(4) イベントによる効果	… P 10
(5) オレンジゆずるバスの課題	… P 13
2. 今後の対応方針について	… P 15

1. 無料乗車イベント実施結果

(1) イベント実施結果の概要

(1) イベント実施結果の概要

○オレンジゆずるバス再編検討分科会にて「若者（子ども・親世代）に向けた利用促進が必要」といったご意見が挙げられたことをうけ、箕面市内在住の小学生を対象に、令和7年8月の1か月で無料乗車イベントを実施。

■ イベント実施概要

実施対象	箕面市内在住の小学1年生～6年生
実施期間	令和7年8月1日～8月31日
実施方法	○事前に対象者にオレンジゆずるバスの1日乗車券との無料引換券を配布 ○実施期間中、バス降車時に無料引換券を1日乗車券に引換
ねらい	○子世代・親世代への利用促進 ○小学生に対するバスの乗り方・利便性の教育（＝モビリティ・マネジメント） ○効果分析を行い、今後の利用促進策を検討

■ イベント実施結果概要

無料引換券利用者数	129人
1日あたり利用者数	4.2人
無料引換券利用率	1.53%
(参考) 無料引換券配付枚数	8,447枚

出典) 無料引換券アンケート結果

■ アンケート調査結果概要

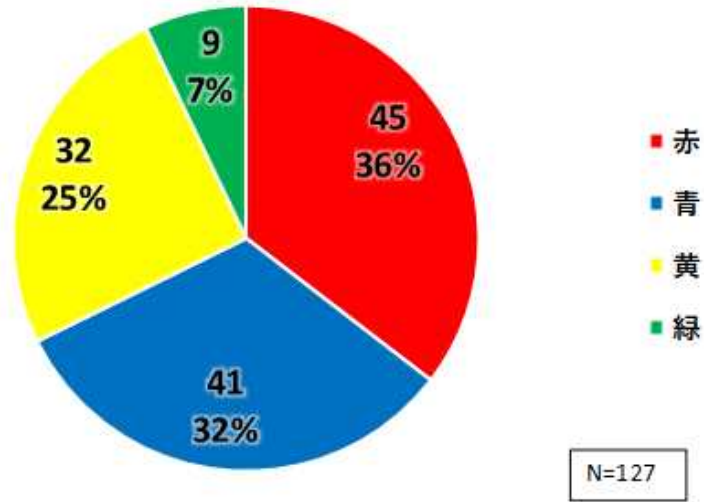
アンケート種類	アンケート対象	質問内容	回答者数
引換券記載アンケート	イベントを利用した児童	①学年 ②利用ルート ③乗車バス停	129人
Webアンケート	児童の保護者 ※イベント利用の有無不問	イベント利用内容 イベント実施効果 バス利用の課題 等	163人 利用者：49人 未利用：113人 不明：1人

(2) イベント利用実態

(2) イベント利用実態

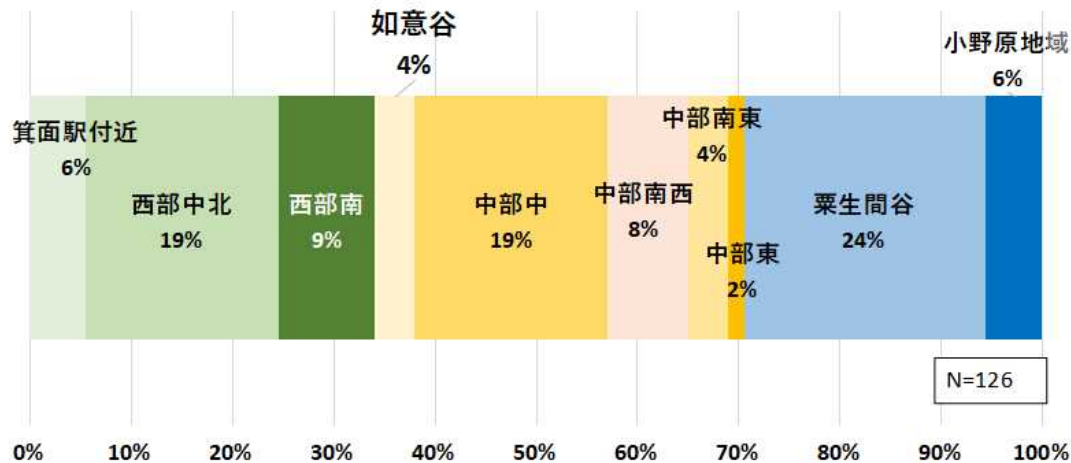
○利用ルートでは、赤が36%、青が32%、黄が25%、緑が7%であり、満遍なく利用されている。
 ○利用バス停の地域においても、西部・中部・東部と満遍なく利用されている。

■利用ルート



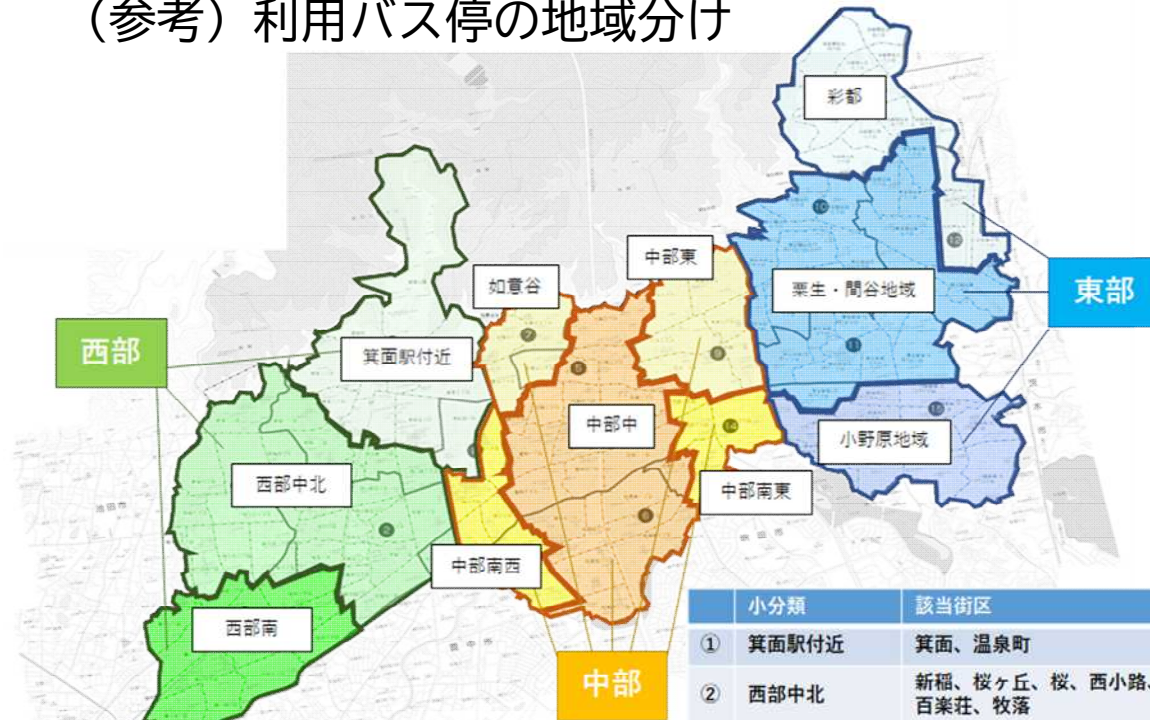
出典) 引換券記載アンケート結果

■利用バス停の地域



出典) 引換券記載アンケート結果

(参考) 利用バス停の地域分け

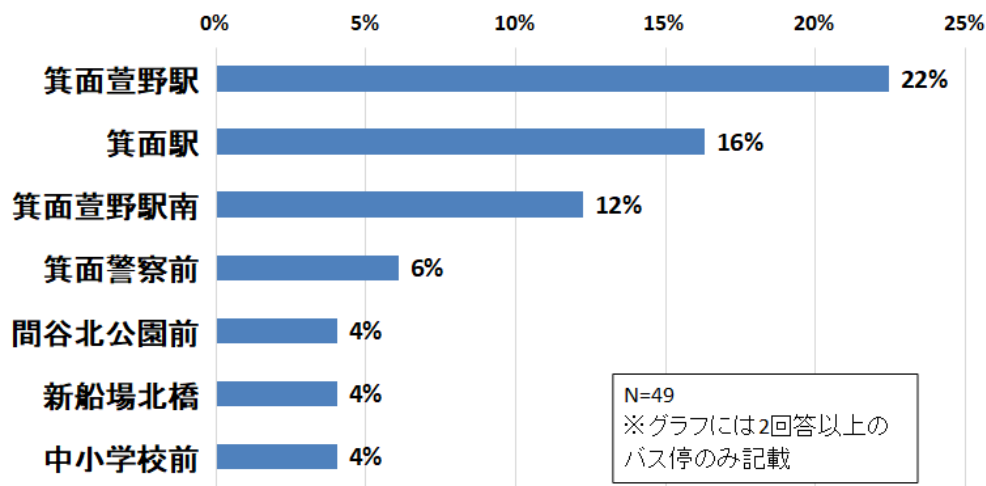


小分類	該当街区
① 箕面駅付近	箕面、温泉町
② 西部中北	新稲、桜ヶ丘、桜、西小路、百楽荘、牧落
③ 西部南	瀬川、半町、桜井
④ 如意谷	如意谷
⑤ 中部中	坊島、白島、萱野、西宿、船場西、船場東
⑥ 中部南西	稲
⑦ 中部南東	今宮
⑧ 中部東	石丸、外院
⑨ 彩都	彩都栗生北、彩都栗生南
⑩ 栗生・間谷地域	栗生間谷西、栗生間谷東、栗生新家、栗生外院
⑪ 小野原地域	小野原西、小野原東
⑫ 北部	北摂全域

(2) イベント利用実態

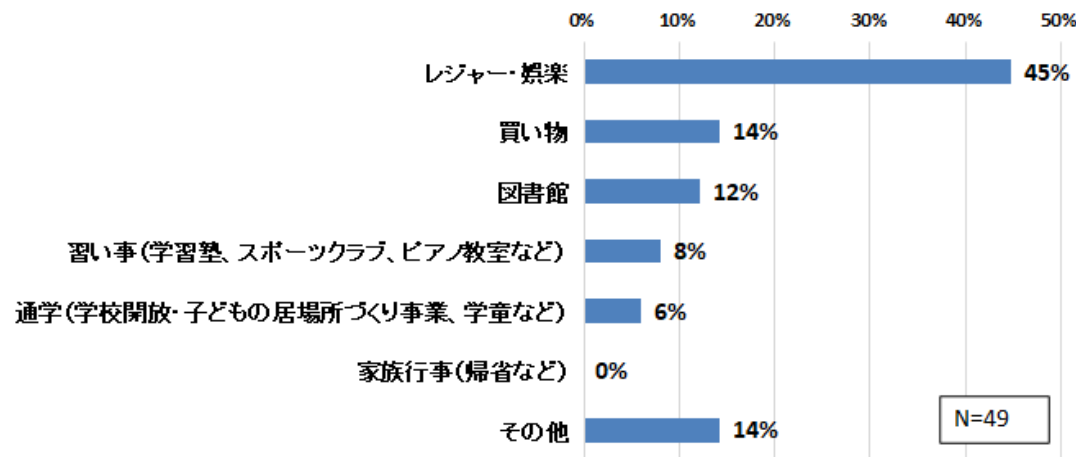
- 降車バス停では、箕面萱野駅が22%と一番多く、箕面駅が16%と続く。
- 目的地では、箕面市内が90%となり、具体的な目的地ではみのおキューズモールが18人、図書館が8人と利用が多い。
- 利用目的では、レジャー・娯楽が45%と一番多く、買い物が14%、図書館が12%と続く。
- 往復での利用は71%、乗り継ぎ利用は24%となり、往復利用での利用が多い傾向。

■降車バス停



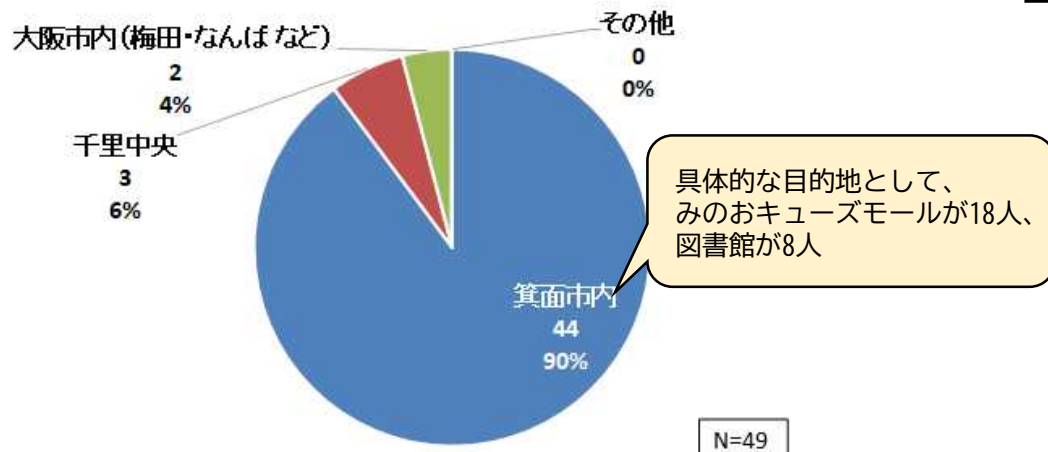
出典) Webアンケート結果

■利用目的



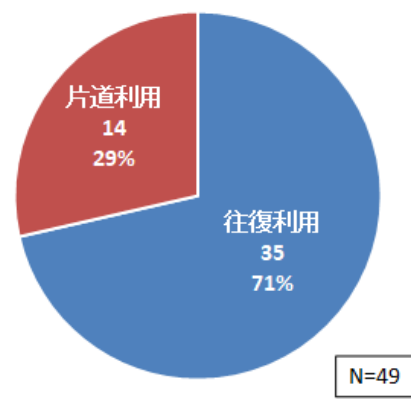
出典) Webアンケート結果

■目的地



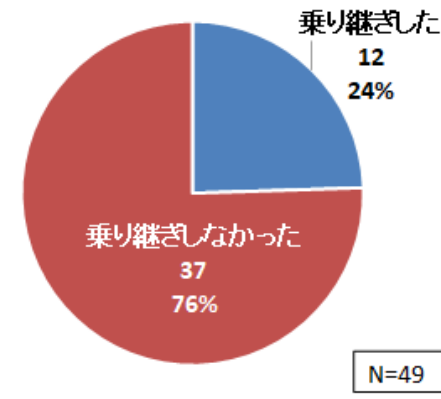
出典) Webアンケート結果

■往復利用



出典) Webアンケート結果

■乗り継ぎ利用



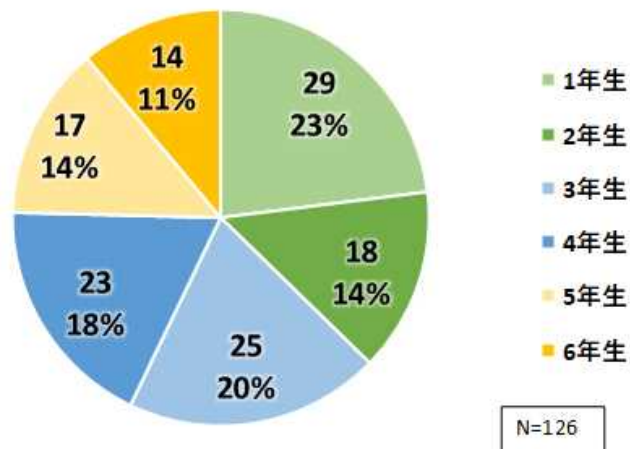
出典) Webアンケート結果

(3) イベント利用者の特徴

(3) イベント利用者の特徴

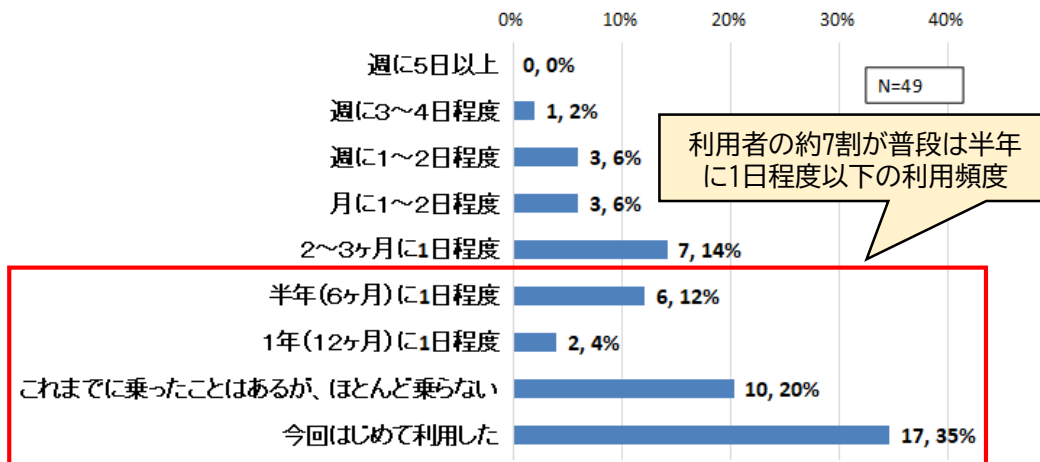
- イベント利用者の学年では、全ての学年の児童が満遍なく利用。
- イベント利用者の同乗者の有無では、約8割の利用者で同乗者がおり、小学4年生以下で比較的高い傾向。
- イベント利用者の普段の利用状況では、約7割が半年に1日程度以下の利用頻度であった。また利用理由では「バスに乗って見たかったため」の回答が比較的高かった。
- バスを利用いただくためには、まずはバスに乗車する経験をしてもらうことが重要である。本イベントにおいて、利用金額のハードルを下げたことにより、新たな利用につながり、「バスの乗車を経験する」機会を創出できた。

■学年



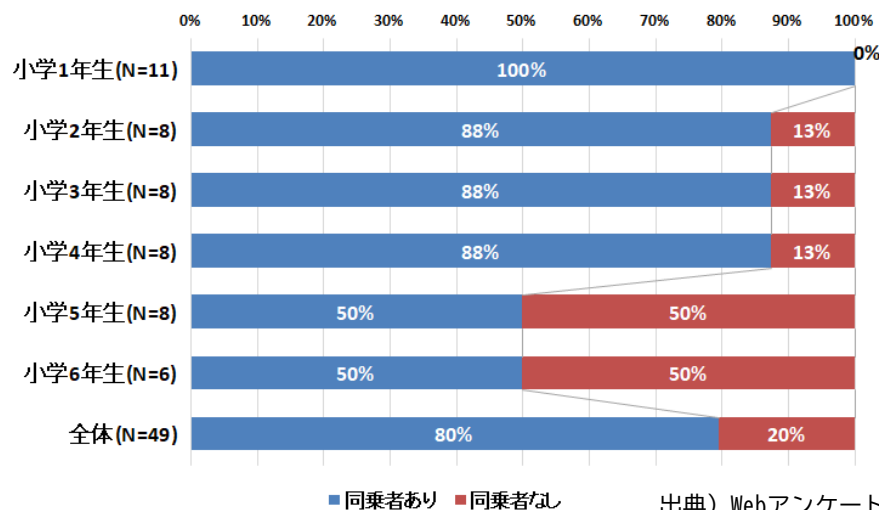
出典) 引換券記載アンケート結果

■イベント利用者の普段の利用状況



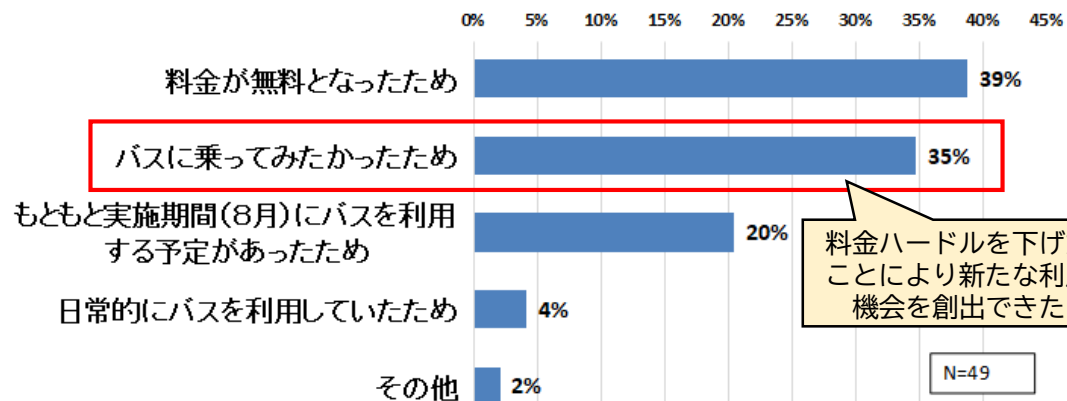
出典) Webアンケート結果

■イベント利用者の同乗有無



出典) Webアンケート結果

■利用理由



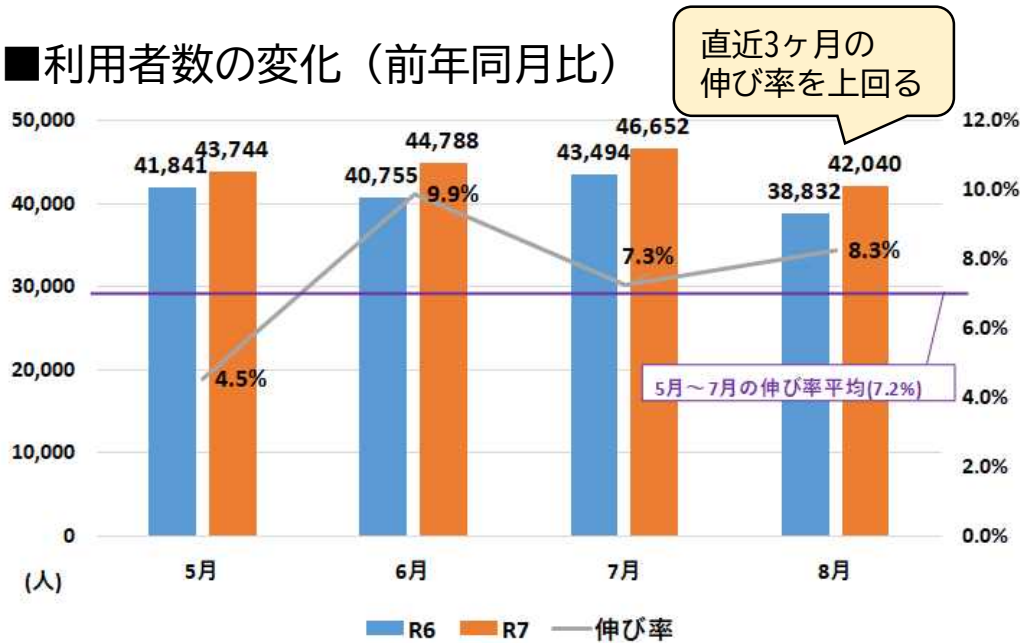
出典) Webアンケート結果

(4) イベントによる効果

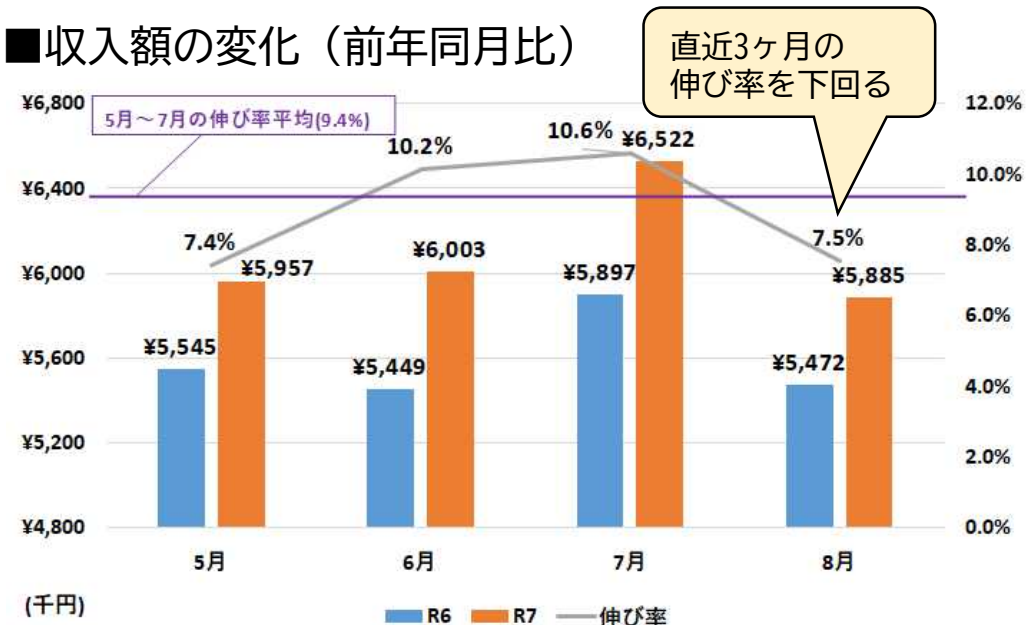
(4) イベントによる効果【利用者数、収入】

- イベントによる効果として、利用者数は前年同月より8.3%増加し、直近3ヶ月（5月～7月）の前年同月からの伸び率平均（7.2%）を上回った。また小児の1日乗車券の販売枚数は78枚となり、前年同月よりも顕著に増加した。よって、本イベントにより、小学生等の需要が喚起され、夏休み期間のリピート利用につながり、利用者数が増えたことが考えられる。
- 一方で、収入額も前年同月より7.5%増加しているものの、直近3ヶ月（5月～7月）の前年同月からの伸び率平均（9.4%）を下回り、本イベントによる収入改善の効果までは確認できなかった。

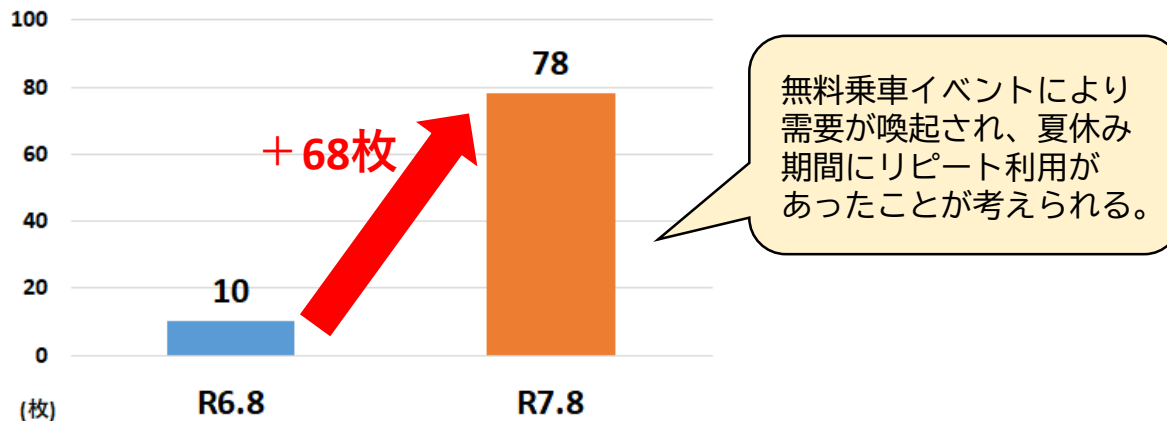
■利用者数の変化（前年同月比）



■収入額の変化（前年同月比）



■小児の一日乗車券の販売枚数（前年同月比） ※無料引換券は含まず

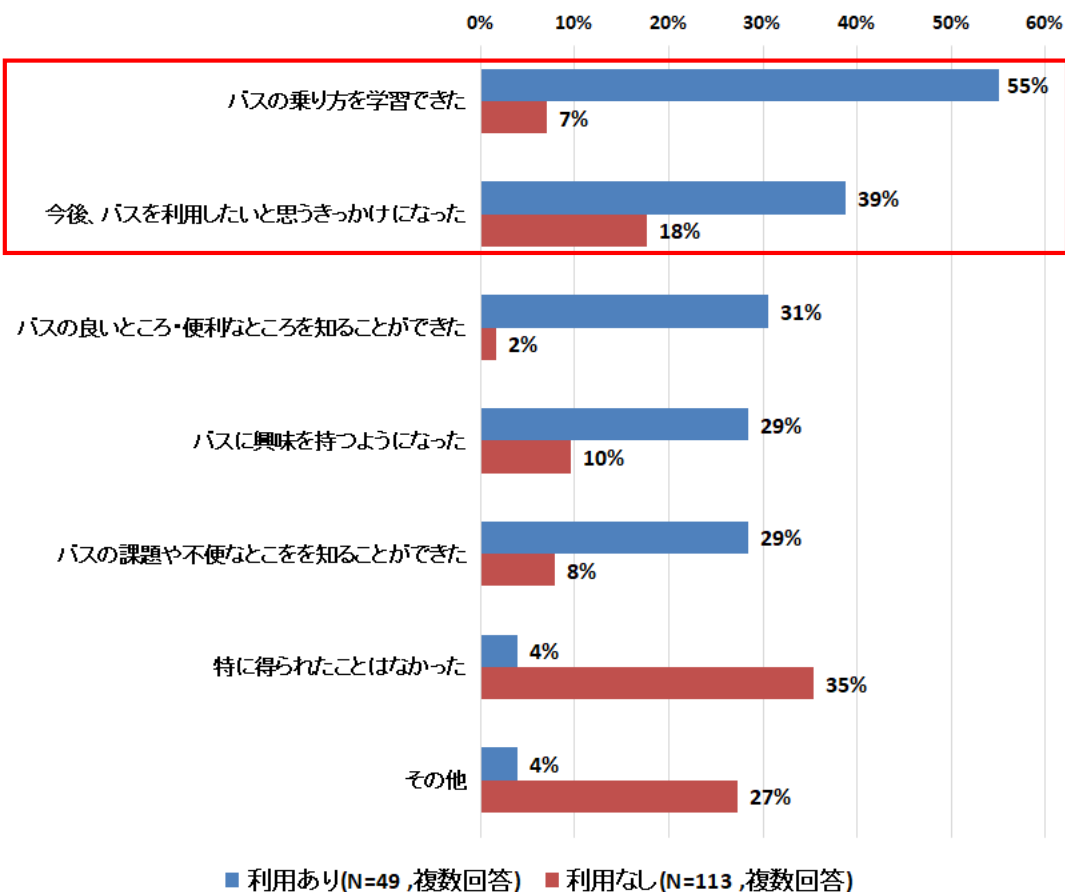


(4) イベントによる効果【モビリティ・マネジメント、利用促進】

○イベント開催による効果として、イベント利用者の内、約6割のかたが「バスの乗り方を学習できた」と回答しており、モビリティマネジメントに一定寄与したことを確認できた。また利用しなかったかたも、約2割が「今後、バスを利用したいと思うきっかけになった」と回答しており、バス利用への姿勢が一定向上したことも確認できた。

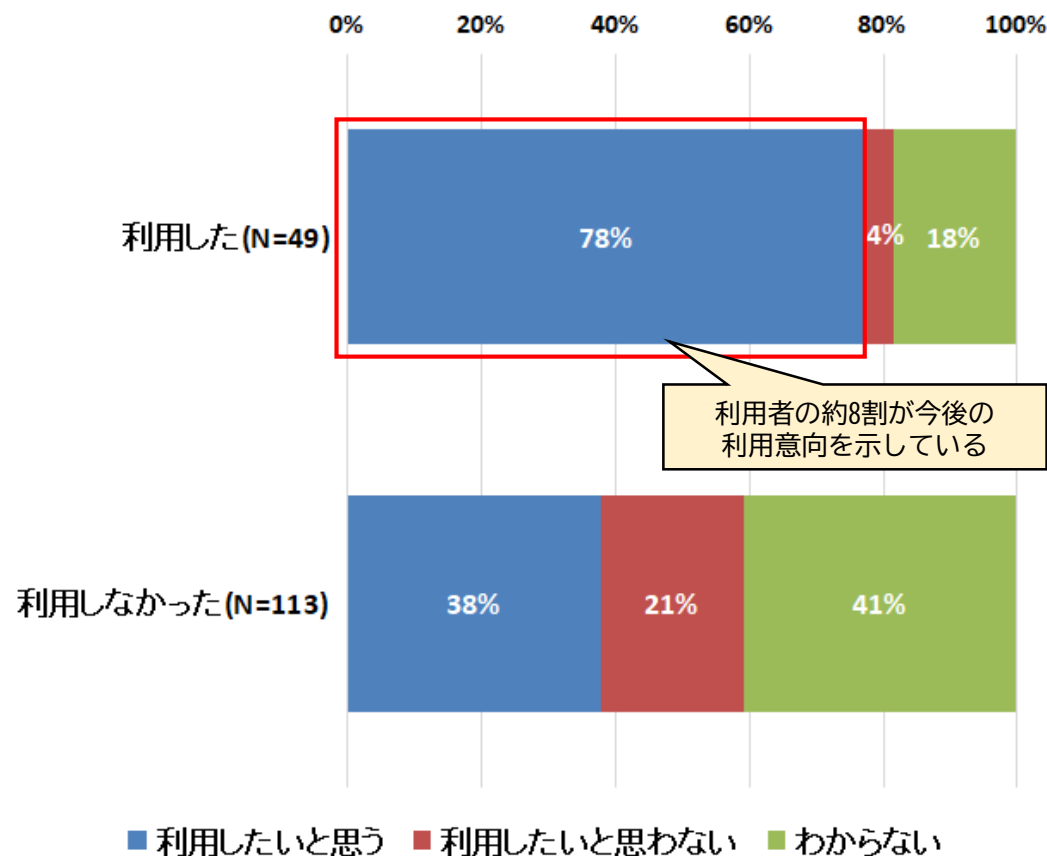
○今後の利用意向としては、イベント利用者の約8割が利用意向を示しており、本イベントにより利用促進が図られていることが一定確認できた。

■ イベント実施による効果



出典) Webアンケート結果

■ 今後の利用意向



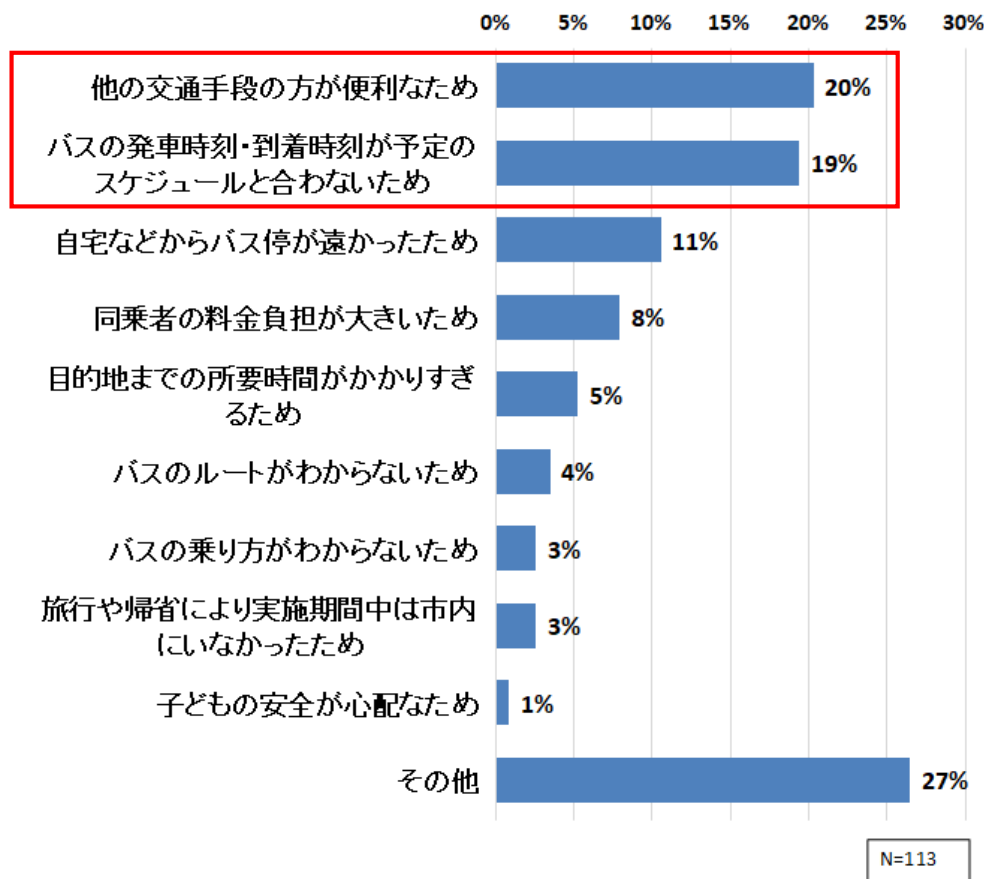
出典) Webアンケート結果

(5) オレンジゆずるバスの課題

(5) オレンジゆずるバスの課題

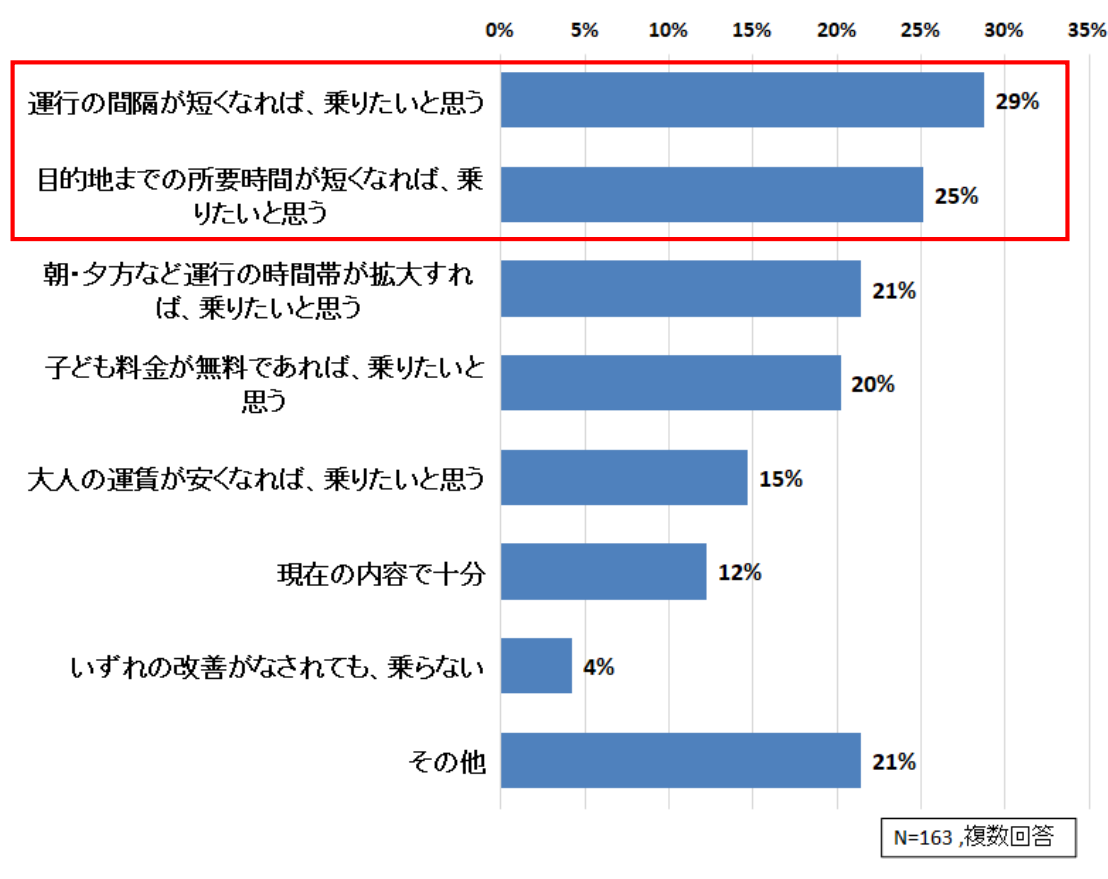
- イベントを利用しなかった理由では、「他の交通手段の方が便利」「バスの発車時刻・到着時刻が予定のスケジュールと合わない」がそれぞれ約2割と比較的高かった。
- また改善が必要な内容では、「運行の間隔の短縮」や「目的地までの所要時間の短縮」がそれぞれ約3割と比較的高く、「運行頻度」、「所要時間」の観点でオレンジゆずるバスに課題を感じられている。

■利用しなかった理由



出典) Webアンケート結果

■どのような改善があれば、より利用したいと思うか



出典) Webアンケート結果

2. 今後の対応方針について

無料乗車イベント 実施結果

- 夏休み期間である8月において無料乗車イベントを実施し、利用者数は前年より増加したことを確認できた。
- アンケート結果から、利用された小学生に対し、バスの乗り方の学習機会の創出や今後の乗車意向が高まる等、一定の効果は確認できた。
- 一方、**利用は約1.5%と限定的**であった。
- より**多くの若者世代に利用してもらうため、新たな施策の検討も継続して行う必要**があると考える。



今後の方針

小学生無料乗車イベント等、**協議会事務局で引き続き、利用促進施策を検討・実施**していく。
具体的には以下の施策等の実施を検討。

【無料乗車イベントの実施】

- 今回の結果を受け、時期や手法等を検討し、引き続き**無料乗車イベントの実施**を検討していく

【大学と連携した利用促進検討】

- より多くの若者世代に利用してもらうため、**若者・利用者目線の意見**を取り込む観点から、**大学との連携により利用促進施策を検討**していく